

# ひらふく

地域づくりセンターだより

<http://hirafuku.net/>

▶▶ ひらふくネット新着情報 ◀◀

- 📷 とんど焼き (2012/1/14)
- 📷 とんどの準備 (2012/1/9)
- 📷 🎒 新春歩こう会 (2012/1/8)
- 📷 しめ縄作り講習会 (2011/12/18)
- 📷 🪚 枯れ木の伐採 (2011/11/27)
- 📷 🎓 高年大学 (2011/11/22)
- (📷:写真 🎒:動画)

## 今年こそ 「ひらふくまつり」 盛会に

宿場町ひらふくまつり実行委員長 五名勇 文  
(上) 撮影者不詳\* (下) 大嶋啓靖 写真

**昨**年(平成23年)1月から何度もまつりに向けての準備の会議をして、3月の最終段階でまつりの大名行列の出演者、諸々の手配準備等も終え、さあハーサル、まつり当日の役割も決まった時点で実行委員長、今回は各地の催しが自粛されているがどうかとの提案に、会議に出席の役員全員で討議の結果、せっかくここまで準備してきたけれど、あの東日本大震災の被害の映像を目の当たりにしてやはり自粛せざるを得ないと全員一致で中止となりました。あれから間もなく一年、今年は第22回宿場町ひらふくまつり開催に向けての準備を実行委員会メンバーで進めています。今回は日程が他の事業と重なったため、4月22日(日)開催となりました。平福の、小さな集落の大きな行事、役員はもとより地域の皆様のご協力を得て盛会に開催されますよう、お力添えをお願いします。

今年の「宿場町ひらふくまつり」は  
4月22日(日)の開催です。



2008年の奴衆 (※撮影者不詳：2008年4月20日、まつり会場で観光客の方から頂いた写真の中の一枚です)

## 地域づくり、この一年

センター長 大谷和廣 文

**平**成21年8月9日夜、佐用町を襲った集中豪雨、バケツで水をぶっかけられているような雨・雨・・・、そして昨年は東北地方で大地震と津波による大被害が発生、地球上あらゆる方面で大災害が起きている。平福地域づくり協議会でも地域の復旧・復興を願いながら、昨年1月より実行委員会を重ねていた「第22回宿場町ひらふくまつり」でしたが、3月の東日本大震災により、協議の結果自粛・中止となりましたが、本年1月より改めて22回として委員会を開催し進めて参りますので、役員の方々、地域の皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

22年7月にオープンした県民交流広場も団体の方々により利用の頻度が高まっています。今後も引き続き多数ご利用くださいますようお願いいたします。2月8日には県民交流広場事業実施状況調査として西播磨県民局の監査を受けたところです。

今年度の主な取り組みでは、4月の「防災マップ作成実技講習会」をはじめ「ふれあい体育祭」「しめ縄づくり講習会」今年1月には約130名の参加をいただいた「新春歩こう会」等々、地域の皆様方のご協力



2009年の奴衆

をいただき大いに盛り上がりました。

広報「ひらふく地域づくりセンターだより」も本号を含め年3回の発行となりますが、年度当初に計画をした行事等は十分な取り組みができなかったことにつきましては反省材料のひとつと思います。特に計画の段

階で行事等が多すぎるとの指摘もあり、今後の課題でもあると思っています。

今後とも協議会各部会委員の方々、そして地域の皆様方の絶大なご支援ご協力をあおぎながら取り組んで参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

## 豚汁づくりと郷土を考える会の取り組み

郷土を考える会会長 矢代成生 文・大嶋啓靖 写真

➤ の日だけは、朝からまず空模様が気になります。  
 ↳ 雪が降っていないか、足元が悪くないか。郷土を考える会で歩こう会の豚汁づくりをはじめてもう6年になります。

最初は姫島高速の建設中に、地元で途中経過を歩いて見てみたいという提案からでした。地域づくりと共同主催となったこの年の歩こう会では、温かい豚汁を振る舞おうと会で決定。以降続けさせていただいています。とは言ったものの、最初は2~300人分の豚汁というと、どんな量になるのか。何の具で、どれ位準備すればよいのかさっぱりわかりません。色々な方々に助言をいただきながらの仕入れとなりました。当日は男ばかりの会で時間までおいしい豚汁が出来るのか、とても不安でしたが、これも心配なし。それぞれに得意分野で役割が自然に決まり野菜を切る者、大鍋を調達する者、味付けする者と段取りよく進みました。調理の苦手な私は味見専門。それがどうでしょうか。とっても美味しい豚汁に仕上がっています。我が会員ながらすごいなぁと感心しているところに、歩き疲れた人たちがそろそろ戻ってきました。次々と順番に豚汁を持って席へ。「温まる」「おいしいねえ」笑顔で召し上がっていただけます。「おじちゃん、おかわり」子供たちが走って空の器を持ってきます。うれしいやらホッと

するやらで無事終了。それ以来好評を頂き継続させていただいています。年によっては量が足らずに自前の味噌を持って走ったりと色々な思い出があります。

我が郷土を考える会は月一回の定例会を行いながらワイワイと雑談の中にも無い知恵を絞りながら、何か地域のために出来ることはないか、これからどうすればよいか考えています。多様な職種の集まりから、今までも

時には道の駅にある観光看板や二度の飛び出し坊や、各地区に置いた椅子作りなど大工仕事。今回のような調理人。夏には出店のお兄さん。そして年数回の花植え職人と、多数の取組を行ってきました。おかげさまで一昨年は結成二十周年にあたり国土交通大臣賞、兵庫県人間サイズの町づくり大賞も受賞いたしました。これも諸先輩から脈々と続く活動の成果と喜んでいます。

さて、今日高齢化し人口が減るこの平福に於いて、郷土を考える会では、もう一度組織・行事の在り方について再構築すべく意見を交わしています。いかに住みやすい平福になるか、これからもより良き地域になるように活動を重ねていきます。皆さんのご協力をよろしくお願いします。



2011.1.9



2010.1.10

## 河川改修工事たけなわ

井上薫 文・写真

**豪** 雨災害から早2年半、5ヵ年工事期間の中間点、今平福地区では多くの復旧復興事業が企画設計され、現場工事も随時進んでいるところです。

●南新町天神橋上~友延まで区間、部分的護岸工事、利神山麓御殿屋敷跡発掘調査が県立考古学博物館によって行われています。なお、上町~南新町左岸河川拡幅本格工事等は本年秋からの施工予定とのことです。

●庵川については佐用川分岐点柳橋一馬瀬区間、現在7施工業者によって順調に工事が進んでいます。

●友延地区県道市場一佐用線(新田坂)沿線河川残土処理場には長谷平福地域の土砂が搬入されています。最終的には農地圃場整備事業と併合になる予定です。

●上町宮橋改修事業、光都土木事務所道路管理による県道上三河~平福線改良工事の一部として災害復旧工事と合わせ、現在橋架け替え工事が施工されています。

今、平福地区全域で多くの工事が行われ、河川の汚濁、道路の汚染、騒音の発生、工事車両往来等、大変な状況下にあります。対応善処安全第一に工事進行ができますようお願いばかりです。

### 編集後記 井上薫 文

今年の寒波は殊の外厳しくて、春の陽射しが待ち遠しい今日この頃です。ここに「センターだより第17号」を発行することができました。年度計画3回発行をクリアでき、広報委員会スタッフのがんばりと五名協議会長、大谷センター長のご支援に感謝いたします。

何事も計画準備(論議討論)はできても実践履行(現実を観て行動)することは重要なことであり大変なことだと思います。しんどくともプラス思考でいくしかないのかな——。そう言えば2010年8月5日発行本紙第12号の編集後記に「継続は力なり」積み重ねの中にも楽しみを見い出せば力になるとありました。なるほど、楽しみか。とは言え、これがなかなか難しい。我が身を振り返ってこの忙しさの中、一体どこに楽しみを見出すか? どこかに隠れてる? それとも新たに作るもの? 日々多様な活動の中、皆さんもぜひ一緒に楽しみ探しをいたしましょう。

今後共よろしく願いいたします。

広報委員会:井上薫、大嶋啓靖、盛崎一夫、衣笠浩、山本邦彦

## 躍動、連帯、延吉延友会

山本邦彦 文・清水利重 写真提供

**延** 吉集落のゴルフ同好会、延友会について紹介します。延友会は24年前に清水利重さん他数名の呼びかけで、集落のゴルフ好きが集まり第一回が開催されました。それ以降、農繁期を避けた3月、7月、11月の年3回程度開催され、迎える回数は今年の3月で74回を数えます。現会員数20名、20代から70代までの幅広い年代の方が参加、ゴルフを通じて世代を超えた交流を行っており、中には親子で参加している方もあります。ここまで長く続いている理由としては、2年に1回ハンデキャップの見直しを行っており、個人のその時々レベルに対応しているため、比較的誰でも優勝を狙えるということがあります。また、普段は近隣のゴルフ場で行ってありますが、節目の年には普段は行けないようなゴルフ場に足を運び、一泊して開催しています。ゴルフコンペではスコアを競うことが前提にありますが、延友会では楽しくプレーし交流を図ることを目的としています。普段から練習している方やぶっつけ本番でプレーする方までさまざま、今後もこの会を長く続けていき、ゴルフを通じて集落内の交流を行っていただければと思います。



2012.2.22

庵川 下庵護岸工事現場



2012.2.22

友延 河川残土処理場1工区現場



2012.2.22

上町 宮橋橋梁工事周辺